

2024年度 歴史地理学会第67回大会・総会プログラム

1. 期 日：2024年 5月25日（土）・26日（日）および27日（月・巡検）
2. 会 場：立命館大学衣笠キャンパス敬学館 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
*キャンパスマップ<https://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=227619&f=.pdf>
- 交 通：JR・近鉄電車・京都市営地下鉄京都駅から
京都市バス50系統、市バス・JRバス快速立命館で「立命館大学前（終点）」下車（約40分）
JRバス高雄・京北線で「立命館大学前」下車（約40分）
京都市バス205系統で「衣笠校前」下車（約40分）、徒歩10分
JR円町駅から
京都市バス・JRバス快速立命館で「立命館大学前（終点）」下車（約10分）
京都市バス15系統で「立命館大学前（終点）」下車（約10分）
京都市バス204・205系統で「衣笠校前」下車（約5分）、徒歩10分
JRバス高雄・京北線で「立命館大学前」下車（約10分）
阪急電車西院駅から
京都市バス・JRバス快速立命館で「立命館大学前（終点）」下車（約20分）
京都市バス205系統で「衣笠校前」下車（約15分）、徒歩10分
京阪電車三条駅から
京都市バス15・51・59系統で「立命館大学前（終点）」下車（約40分）
*交通アクセス <https://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/kinugasa/>

3. 日 程：5月25日（土）
10:00～12:00 研究発表〔自由論題〕（敬学館）
12:30～13:20 評 議 員 会 （同上）
13:30～14:20 総 会 （同上）
14:30～16:40 公開講演会 （同上）
17:00～19:30 懇 親 会（諒友館）
5月26日（日）
10:00～16:00 研究発表〔共同課題シンポジウム〕（敬学館）
10:00～15:30 研 究 発 表〔自由論題〕（同上）
5月27日（月） 巡検（京都市三条・四条通方面）

4. 公開講演会

- 演 題：橋本 章（京都文化博物館主任学芸員）
「場所に刻まれた記憶を読む―明治時代における豊臣秀吉の再神格化を事例に―」
片平博文（立命館大学名誉教授）
「過去の空間の意味を探る―平安京に残る文字・絵画資料、そして自然現象を手掛かりに―」
- 会 場：立命館大学衣笠キャンパス敬学館
参 加 費：無 料

5. 研究発表会

- 自由論題および共同課題シンポジウム「記憶・記念碑・場所」
会 場：立命館大学衣笠キャンパス敬学館
大会参加費：1,000円
*当日、大会受付で資料集と引き換えにお支払いください。
*5月17日（金）までに、下記Googleフォームで参加申し込みをしてください。

6. 懇親会

会 場：立命館大学衣笠キャンパス諒友館

会 費：6,000円（学生は3,000円）

*当日，大会受付でお支払いください。

*5月17日（金）までに，下記Googleフォームで参加申し込みをしてください。

7. 昼 食

25日（土）・26日（日）とも，弁当（1,000円，お茶付）を予約販売します。5月17日（金）までに，下記Googleフォームで申込みをしてください。当日，大会受付で弁当代をお支払いください。大学近隣には，食堂・コンビニエンスストアなどがありますが，店舗数は少なく，観光客で混み合います。

8. 大会参加の事前申し込み

下記のURLから5月17日（金）までに参加申し込みを受け付けます。回答の記入欄には，ご所属・お名前に加えて，プログラムごとのご参加予定・懇親会と巡検の申し込みに関する質問項目を設けております。

*2024年度歴史地理学会第67回大会参加申込サイト（Googleフォーム）

<https://forms.gle/UUgpoCbu8kSio9kf9>

*未登録の方の参加も受け付けますが，できるだけ事前にGoogleフォームでの登録にご協力ください。

9. 巡 検

テ ー マ：洛中における「記憶・記念碑・場所」

集 合 日 時：5月27日（月）12時30分（昼食は済ませてからお越しください）

集 合 場 所：立命館大学朱雀キャンパス1階ロビー

JR・京都市営地下鉄「二条駅」下車，徒歩約2分

阪急電車「大宮駅」・京福電車「四条大宮駅」下車，徒歩約10分

コ ー ス：立命館大学朱雀キャンパス（集合）→西高瀬川→四条軍用側線跡→後院通→本能寺跡→膏薬辻子→長江家住宅→船鉾町会所→ウィングス京都→京都文化博物館別館→三条通→寺町通→新京極通→坂本龍馬遭難之地→土佐藩邸跡→高瀬川一之船入跡→長州藩邸跡→京都市役所（解散）

*全コース徒歩での巡検ですが，天候等の事情により地下鉄・バス等の公共交通の使用やコース変更する場合があります。

案 内 者：河原典史・森田耕平（立命館大学），佐藤弘隆（愛知大学）

参 加 費：長江家住宅・船鉾町会所入館料と資料代（合計1,000円）を，集合場所でお支払いください。

参 加 定 員：最大20名，最小5名

申 込 方 法：5月17日（金）までに，Googleフォームで参加申し込みをしてください。

10. 宿泊情報

外国人旅行者の増加にともない，京都市内では宿泊施設の予約が厳しい状況です。大阪府や滋賀県方面での宿泊もご検討ください。

11. 大会開催中（5月25日・26日）の緊急連絡先

立命館大学文学部河原研究室 TEL：075-466-3201，E-Mail: kawahara@lt.ritsume.ac.jp

〈大会実行委員会〉

河原典史（委員長）

加藤政洋・河角直美・神田孝治・森田耕平・山本理佳（以上，立命館大学），佐藤弘隆（愛知大学）

12. 研究発表会

◇5月25日 土曜日

●第1会場 【自由論題】

【座長：渡辺康代】

101 (10:00~10:30) 大島 明 (立命館大・院)：京都市と上田市との神輿渡御祭をつなぐ「神輿棟梁」の相互協力

102 (10:30~11:00) 木村裕樹 (立命館大)：近世京都の「氏子かり」と堅木地師

【座長：関戸明子】

103 (11:00~11:30) 益 大輝 (筑波大・院)：紀行文学・名所図会にみる近世神奈川宿の場所認識

104 (11:30~12:00) 石川萌恵 (半田市立博物館)：近代の旅行案内書にみる北海道

●第2会場 【自由論題】 *は登壇者

【座長：網島 聖】

201 (10:00~10:30) 吉田瑠那 (愛知県立大・院)：戦後復興期に建設された「岡ビル百貨店」の特徴と暮らし

202 (10:30~11:00) 河角直美 (立命館大)*・加藤政洋 (立命館大)・宮原佑成 (立命館大・学)・

稲田七海 (大阪公立大)・前田一馬 (京都橘大)：京の台所《錦市場》の店舗変遷
—方法と基礎資料に関する検討—

【座長：清水克志】

203 (11:00~11:30) 松岡宏樹 (京大・院)：幕末期宮津藩領における村落の生産基盤の類型化

204 (11:30~12:00) 豊田紘子 (千葉経済大)：近代における果物の規格化と外観品位
—柑橘産地での青酸ガス燻蒸を事例に—

◇5月26日 日曜日

●第1会場 【シンポジウム】記憶・記念碑・場所

(10:00~10:10) 趣旨説明

(10:10~11:10) Aセッション：つくる—「記憶・記念碑・場所」の生産・創造

S101 大平晃久 (追手門学院大)：原城跡の記憶と顕彰

S102 奥野聡子 (大阪人間科学大・非)：建碑による場所の記憶の継承—戊辰の役東軍戦死者之碑と戊辰役東軍戦死者埋骨地標をめぐって—

(11:20~12:20) Bセッション：つかう—「記憶・記念碑・場所」の消費・改変

S103 今野泰三 (中京大)：パレスチナにおけるジェノサイドと植民国家イスラエル

S104 桑林賢治 (山形県立米沢女子短期大)：東北地方におけるアイヌのコメモレイションと遺跡・地名・エミシ

(昼休憩)

(13:30~14:30) Cセッション：つむぐ—「記憶・記念碑・場所」の変容・展開

S105 塩川太郎 (芸術文化観光専門職大)：台湾における地震に関する災害伝承の変容

S106 山本理佳 (立命館大)：観光がつむぐ記憶の場所—産業遺産を事例に—

(14:40~16:00) 全体討論+総括

コメンテーター 福田珠己 (大阪公立大)

登壇は7名 (発表者S101~S106・コメンテーター)

※ 司会・総括 上杉和央

●第2会場 【自由論題】

〔座長：牛垣雄矢〕

205 (10:00~10:30) 高原佳穂 (京大・院)：城下町成立における都市と村落の相互関係
—信濃上田城下町とその外縁村落・秋和村を事例として—

206 (10:30~11:00) 平野 薫： 京都御土居の北辺経路についての考察

〔座長：飯塚公藤〕

207 (11:00~11:30) 伊藤智比古 (流山市立博物館)：戦後における流鉄流山線の延伸計画
—経営層に着目して—

208 (11:30~12:00) 南出眞助 (追手門学院大・名誉)：古代中世敦賀津の再検討

〔座長：平井松午〕

209 (13:00~13:30) 大平早紀 (筑波大・院)：「蝦夷国全図」にみる蝦夷地像

210 (13:30~14:00) 神 英雄 (安来市加納美術館)：堀田仁助の海岸測量図の基礎的考察

〔座長：山下琢巳〕

211 (14:00~14:30) 鈴木亜香音 (佛教大・非)：明治初期京都における火災被害と地域的変容
—明治7年下京大火を事例として—

212 (14:30~15:00) 花木宏直 (関西学院大)：伊豆大島におけるラクダの導入とその後の展開

213 (15:00~15:30) 柴田陽一 (愛知県立大)：日本の地理学関係博士論文研究・続報

<キャンパスと会場>

